

令和 7 年 7 月号

市場事務所便り

社会保険労務士 市場 敬将



〒381-1221

長野市松代町東条 3116-3

電話:026-278-3555

e-mail:ima@ichiba-sr.com

FAX:026-278-3540

URL:www.ichiba-sr.com

Ⅰ. 職場での熱中症対策義務化



◆改正の概要

近年の猛暑や職場での熱中症による死傷災害の増加を受け、職場での熱中症対策が法的義務として強化されています。具体的には、令和 7 年 6 月 1 日、職場における熱中症対策の義務化を含む、改正労働安全衛生規則が施行されました。

対象となるのは、「W B G T（暑さ指数）28℃以上または気温 31℃以上の環境で、1 時間以上または 1 日 4 時間を超えての実施」が見込まれる作業です。これについて、熱中症の重篤化を防止するため「体制整備」「手順作成」「関係者への周知」が事業者には義務付けられました。

◆主な義務内容

- ・ 報告体制の整備と周知：「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備および関係作業員への周知。
※報告を受けるだけでなく、最適温度管理バディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や労働環境内での冷却装置等により、熱中症の重症状がある作業員を積極的に把握するように努める。
- ・ 重篤化防止措置の準備と周知：熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、①事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先および所在地等、②作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成および関係作業員への周知。

これらの措置を怠った場合、6 カ月以下の拘禁刑または 50 万円以下の罰金が科される可能性があります。従業員の命を守るためにも、また

法令遵守のためにも、今後は作業環境の見直しや従業員への教育・訓練の実施がより一層重要となります。

詳細は、厚生労働省のパンフレット・リーフレットをご参照ください。

【厚生労働省「職場における熱中症対策の強化について」】

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001476824.pdf>

II.

中小企業の正社員賃上げ率 4.03% 実施しない企業も 二極化傾向に

～日本商工会議所・東京商工会議所の調査より～

日本商工会議所・東京商工会議所は6月4日、「中小企業の賃金改定に関する調査」集計結果を発表しました。全国の会員企業を対象に調査したもので、2025年4月14日から5月16日にかけて行い、3,042社から回答を得ました。

定期昇給とベースアップを合わせた正社員の賃上げ率が平均で4%を超えましたが、一方で、賃上げしない企業も全体の2割に及び、二極化の傾向がみられるとしています。

◆賃上げを実施する企業は全体で約7割、 20人以下の小規模企業で約6割

2025年度に賃上げを実施した企業（予定を含む）は69.6%と、前年より4.7ポイント低下しました。20人以下の小規模企業では57.7%で5.6ポイント低下しています。

また、現時点で「未定」との回答は23.5%で3.1ポイント上昇。価格転嫁の遅れや米国関税措置等で先行き不透明感を懸念する声もあり、昨年に比べ、「未定」の回答が増加しています。

◆正社員の賃上げ率は4.03%、昨年比0.41ポイントの増加

中小企業全体の正社員の賃上げ額（月給）は、加重平均で1万1,074円と、昨年より1,412円上回りました。賃上げ率は4.03%で、昨年対比では、0.41ポイント増加しています。

20人以下の小規模企業では、賃上げ額（月給）は加重平均9,568円、賃上げ率は3.54%で、昨年より0.20ポイントの増加です。

◆パート・アルバイトの賃上げ率は4.21%、昨年比0.78ポイントの上昇
パート・アルバイト等の賃上げ額（時給）は46.5円、賃上げ率は4.21%で0.78ポイントの増加です。

一方、20人以下の小規模企業では、賃上げ額は37.4円、賃上げ率は3.30%で、昨年より0.58ポイントの減少となっています。

賃上げ率は全体では4%を超えるなど、中小企業も賃上げに最大限努力していますが、小規模企業は全体と比較し賃上げ額・率ともに低位となっていることから、より重点的な支援が求められます。

【日本商工会議所・東京商工会議所

「中小企業の賃金改定に関する調査」集計結果】

https://www.jcci.or.jp/20250604_research.pdf

📖📖📖 今月のことば 📖📖📖

いまだに日本社会は「高齢の男性」が会長・社長・校長・政治家など物事を決める地位で圧倒的比率を占めている。社会の構成員の声をまんべんなく反映させるにはリーダーや会議メンバーに「女性・若者」が含まれていて、その発言が尊重されていなければおかしい。でなければ、その集団は衰退する。当たり前だ。現代は新しい技術が次々に現れ変化が急速である。若い人の頭脳と意見が必要だ。70年以上前は、伝統的な農業社会で戦争も頻繁。マッチョなタテ型社会になりやすく高齢男性の経験とやらが無条件に尊重されたが今は違う。サービス業が7割以上。海外との交流も激しい。若者・女性・マイノリティなどがもつ多様な考えや情報は社会発展のヒントで宝だ。これを生かせない国や組織は衰え滅ぶ。

日本列島の人々は「永く居る人」に高い地位を与えやすい習性をもつ。「当選回数主義」で有力政治家は高齢と世襲ばかりなのはそのせいである。明治維新はその逆をやった。門閥世襲を破壊した。西洋化近代化の新知识を重んじて身分の上下よりも知識の有無で、人を登用した。そのエネルギーはすさまじいものだった。

『日本史を暴く』 磯田 道史 著

◆◆◆事務所よりひとこと◆◆◆



NHK の土曜ドラマ【ひとりでしにたい】見ていますか？

“社会派終活コメディ”らしく、綾瀬はるか演じる主人公が「よりよく死ぬためによりよく生きる方法」を模索し、「終活」の問題に直面しながら奮闘する姿がユーモラスに描かれます。親の老後や介護、自身の老後と死は誰もが避けられない普遍的なテーマです。「この先待ち構えているのは、苦しくて面倒なイベントしかない」「年を取ったらもっと足は重くなり、足どころか頭も動かなくなってくる。気が重いことほど頭が動くうちにやらないとだめなんだ」などのセリフの数々は私自身に向けられているようです。これから主人公がどのように問題に立ち向かっていくのか、松坂慶子演じる主人公の母親がなにかたくらんでいるのではないかと、ワクワクしながら見守っているところです。

“終活”と言うと大袈裟な感もあります。断捨離の延長ぐらいいにとらえて身近なところから少しずつ整理していけたらいいのかなと思います。手始めはパスワードの整理。色々な場面でパスワードを求められ、適当に作って登録した結果、次にログインできない問題続出でしたが、100均で見つけたパスワード帳にメモすることで、自分の備忘録となり、置き場所を家族に伝えておくことでいざという時の備えにもなっています。皆さんもパスワード帳いかがですか？ おすすめですよ。（市村）

【お知らせ】 ~ご不明な点は当事務所までお問い合わせください~

▶「熱中症対策」が事業者の義務となりました（令和 7 年 6 月 1 日から）

本事務所便り、記事 1.で取り扱っている内容ですが、以下、ポイントをまとめました。
周知チラシ等でお困りの場合はお声がけください。

～ 対策のポイント ～

- ・作業環境や気象条件に応じた **WBGT（暑さ指数）** の把握
- ・**水分・塩分補給の推奨**および休憩時間の確保
- ・作業の**中止や制限**を含む安全配慮の実施
- ・**教育・啓発**の実施（熱中症の症状、予防法等）
- ・対策マニュアルや対応フローチャートの作成・周知